

【生物多様性国際シンポジウムを開催】

生物多様性の保全に向けて、広く県民に里山里海の存在意義とその利活用・保全を普及啓発するため、いしかわ里山里海フェアの主要イベントとして「生物多様性国際シンポジウム」を開催。

概 要

- 日 時：平成 21 年 10 月 25 日(日)
- 場 所：石川県立大学 第一講義室
- 入場者：約 130 人
- 主 催：いしかわ里山里海フェア実行委員会
- 共 催：生物多様性 J A P A N
- 内 容：テーマ「生物多様性と植物・人・里山里海」
 - 講演「身近な植物たちを守る」
 - ・古田尚也氏（国際自然保護連合 (IUCN) 日本事務所代表）
「COP10と植物戦略」
 - ・ジュード&ミシェル・ファントン氏（シド・セバース・ネットワーク創設者）
「たねからのメッセージ」
 - 事例紹介 「石川県の伝統的な野菜の品種を守り育てる人々」
 - ・「金時草、太胡瓜」
 - ・「五郎島金時」
 - ・「能登大納言」
 - パネルディスカッション
「生物多様性パネルディスカッション」～植物は命の源～
 - パネラー 堂本 暁子(元 IUCN 北東アジア地域理事・前千葉県知事)
 - 菊沢 喜八郎氏（石川県立大学教授）
 - ほか

人の生活と深く関わり、私たちに恵みをもたらしてくれる里山や里海の利活用を通じた生物多様性の保全を進めていくため、石川県立大学で、NGOの生物多様性 J A P A Nとの共催により、「生物多様性国際シンポジウム」を開催し、「私たちの命の源「植物」を守るために」をテーマに、講演や石川県の伝統野菜を守る活動の紹介などを行った。

学生や研究者、農業者など約 130 人が参加し、多くの県民に生物多様性や里山里海の重要性を普及啓発できたと考えており、今後も COP10 に向けて、県内各地の企業や団体等と連携・協力をしながら、取組みを進めていくこととしている。

※いしかわ里山里海フェア

里山や里海の利活用を通じた生物多様性の保全を進めていくため、10 月を里山里海活動月間と位置付け、県内各地で里山保全活動や自然観察会などを開催し、県民が参加し、体験できる多彩なイベントを開催。

県内約 60 ヶ所でイベントが実施され、延べ 20,000 人余りが参加。